

第 24 回(平成 30 年度第 6 回) 環境振動予測解析小委員会議事録

A. 日時 2019 年 2 月 25 日(月) 17:00~19:25

B. 場所 (一社)日本建築学会 建築会館 301 会議室

C. 出席者(敬称略)

主査、他 7 名

D. 提出資料

No.24-0 環境振動予測解析小委員会(第 24 回) 議題

No.24-1 第 23 回(平成 30 年度第 5 回) 環境振動予測解析小委員会 議事録(案)

No.24-2-1 環境振動運営委員会 2018 年度第 5 回議事録(案)

No.24-2-2 環境振動予測解析小委員会 活動報告(案)

No.24-2-3 2018 年度 小委員会活動成果報告

No.24-2-4 環境工学委員会 委員公募

No.24-4 2019 年度 AIJ 大会梗概(案)

E. 審議事項

1. 前回議事録: No.24-1

・第 23 回(平成 30 年度第 5 回)の議事録(案)は承認とし、案を取って議事録とする。

2. 環境振動運営委員会より: No.24-2-1~No.24-2-4

・運営委員会の内容について報告。

・小委員会の委員公募については 2/6 締切とする。すでに HP には掲載済み。本小委員会では 3 名の委員が退任の意向を示しており、公募を行うこととする。

・本小委員会の活動内容を報告。小委員会の成果として学会大会に数編投稿予定。設計指針 WG との連携のため、新たな小委員会でも引き続き報告書の作成を行う。2018 年度の活動成果報告としては、自己評価を A に修正して提出。

・設計指針小委員会は、2020 年 6 月に設計指針の刊行を予定しており、講習会も同時期に行う。

3. 環境振動設計指針策定 WG より: 資料無し

・環境振動設計指針策定 WG からの報告。

・シンポジウムでの内容を説明。今後、指針初稿の執筆作業を実施していく。

・本小委員会の成果を、設計指針でどう扱うか、など次回の設計指針 WG で確認を行う予定。

4. 事例作成、大会梗概の報告: No.24-4

・No.24-4 に基づき、大会梗概案について各担当が説明を行い、委員で議論した。
⇒全体としてどういう構成で仕上げるか、各編である程度独立した内容である必要がある。

⇒1 テーマで 5 編は多いか。内容としてはかなりの検討を実施したので、内容を絞らないと 5 編でも納まらない。

⇒その2の実測では、かなりの量の実測を行っているため、2ページでは紙幅の関係上、納まらない。その1で全体概要を述べるとともに、実測の概要についても記載する。

⇒その2では、同一人物で or 違う人物でどれくらいばらつくか、などを考察した内容があると良い。1枚目で実施した実測結果を、2枚目でモデル解析結果を掲載すると良いのではないかな。

⇒その3（事例1）は、ブラインド解析を大会梗概で報告した際に作成したような一覧表があると良い。実測結果と予測結果（1/3Oct.やアクセラランス）の比較、増田委員が以前の小委員会で提示した簡易評価との比較などで1編を構成する。

⇒その4（事例2）は、まず FEM モデルで間仕切壁が無いモデルを示した方が良いのではないかな。事例1で作成したモデルを単に複層にしたモデルを扱う。減衰定数について、実測結果でなく、アクセラランスの大きさを調整するために数値を増減させたことについては、丁寧な説明が必要。もしくは実測結果の減衰定数を用いて検討した結果に変えるか。

⇒その5（事例3）は、地盤概要を示し、基本的には起振器でのスイープ加振による実測結果と予測結果を比較する方向で調整する。緒方委員が実施している詳細な方法の結果と、石田委員が実施している簡易な方法の結果で実測結果と比較しながら考察を加える。

⇒全体の構成を議論した結果、大会梗概としては全5編で投稿できるように各事例担当は大会梗概を執筆すること。

・事例3の簡易法について進捗報告を行い、委員で議論した。

⇒詳細法がハイブリッド法を用いているのに対し、簡易法では加振点から建物入力までを距離減衰+入力損失で評価した。建物基礎から上階の床までは、詳細法と同様の FEM モデルを用いた伝達関数により評価している。

⇒加振点と建物の距離が近いことから、表面波が主体であると思われるが、結果は実体波の方が整合している。

⇒簡易法では、加振点から 50cm の距離にある加速度計で計測したものを入力波としている。詳細法でもその 50cm 離れた点での加速度を算出して、実測値とどの程度差があるのか、確認しておいた方が良い。

6. 次回の議題、宿題：資料無し

・各事例の成果品

7. その他：資料無し

・大会梗概は、4月4日12時が締切なので、適宜メールやストレージサーバーを利用して作成していく。

F. 次回予定

今回は、2019年4月17日(水) 17:00～ 於：建築会館会議室

以上